

ピーマン

(1) 耕種的防除法等

病 害 虫 名	防 除 適 期	防 除 方 法
青 枯 病	植付前	○ ナス科作物の連作をしない。 ○ 排水を良くする。 ○ 抵抗性台木を用いて接木栽培を行う。 ○ 敷わらや白マルチにより地温上昇を抑制する。
疫 病	植付前 生育中	○ 連作をしない。 ○ 高畝にし、排水を良くする。 ○ ハウス栽培では水のかけすぎに注意する。また、換気をはかり多湿を避ける。 ○ 灌水には、井戸水や水道水を用いる。 ○ 発病株は抜き取って焼却する。 ○ 健全株を植え付ける。 ○ ハウス栽培ではサイド近くなど温度が下がりやすく多湿になりやすいところから発生しやすいので注意して管理・防除する。
炭 疽 病	生育中 収穫後	○ 温室・ハウスなどでは多湿にならないよう換気する。 ○ 排水を図り、密植にしない。 ○ 発病果実は、直ちに摘果し焼却する。 ○ 全生育期間を通じて発生するが、温暖多雨時に発病が多い。 ○ 被害株を適切に処分する。
軟 腐 病	植付前 生育中 収穫後	○ 健全な種子を選ぶ。 ○ 排水に注意し、風通しを良くする。 ○ 野菜類の登録薬剤を処理してもよい（「野菜類の登録」の項 参照）。 ○ 発病畑では、全株を集めて適切に処分する。
灰色かび病	生育中	○ ハウス栽培ではファン等で換気をはかり、低温多湿にならないように注意する。
モザイク病	生育中	○ 育苗期間中から媒介昆虫のアブラムシ類を防除する。 ○ シルバーストライプマルチを行い、有翅アブラムシの飛来を抑制する。